

令和2年度 一般入試（後期）小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は表紙を含めないで3ページあります。解答用紙は3枚です。下書き用紙は1枚あります。
試験中に、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 3 試験開始の合図があったら、まず、すべての解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
- 4 解答はすべて解答用紙のそれぞれの解答欄に記入してください。
- 5 試験時間は90分です。
- 6 解答用紙は記入の有無にかかわらず、持ち帰ってはけません。
- 7 この問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

次の二つの文章を読んで、問いに答えなさい。

(一)

言葉には様々な「感じ方」がある。

言葉が上手い、言葉が下手。

説明が分かりやすい、分かりにくい。

納得感がある、納得できない。

共感できる、共感できない。

こうした様々な尺度を見ていくと、言葉づかいが上手いかどうかは、相手の心を揺さぶるかどうかを決める要因の1つに過ぎないことが分かる。

もちろん伝え方がうまく、言葉に重みがあり胸に響くのが理想であることに変わりはない。しかし、朴訥ぼくたくとして不器用そうに見えても、その一言に重みがあり、心が動かされることもあるため、言葉の巧さだけが共感や共鳴を生む要因でないことは明らかである。

重要なのは、言葉が重い、言葉が軽いといった尺度である。

表現の技術として「大事なことを話す前に一拍あける」「ゆったりとした口調で話す」「主張したいことは繰り返し話す」などの手法は確かに存在する。しかし、これはあくまで話し方の問題であって、話す中身に影響を与えるものではない。

言葉に重みが生まれる、最大の理由。

それは、言葉を発信する側の人間が、自身の体験から本心で語っていたり、心から伝えたいと思うことによる「必死さ」「切実さ」に因るところが大きい。その結果、どんなに平易な言葉であっても、意図が十分に伝わることで、人の心を惹きつけて離さなくなる。

つまり、思いが言葉の重みを生むのである。

その人自身の経験や体験、それによって培われた思考といった人間の源泉から湧き出る言葉にのみ込められる真実味や確からしさこそが、人の心に響くかどうかを決しているのだ。

その一方、どんなにコミュニケーションを円滑にする訓練を積んだところで、発する言葉が上辺だけのものであったり、どこかで聞いたことの受け売りであったならば、どんなに素晴らしいことを話していたとしても、聞き手は言葉の端々から軽さや浅さを感じ取ってしまう。

(1)

「人を動かす」ことと「人が動く」ことは、同じように感じられるが、似て非なるものである。前者の「人を動かす」は自分の意図するように仕向けるといった強制的かつ受動的な意味合いが強いが、後者の「人が動く」は自らの意志で動きだすといった自主的かつ能動的な行動を促すものになっている。

『星の王子様』で有名なアントワーン・ド・サン＝テグジュペリは以下のような言葉を用いることで、「人を動かす」と「人が動きなくなる」の違いを述べている。

船を造りたいのなら、男どもを森に集めたり、仕事を割り振って命令したりする必要はない。代わりに、広大で無限な海の存在を説けばいい。

(中略)

言葉において大切なのは、人を動かす力ではなく、人が動きたいと思わせる力である。自主性を引き出すことができず、相手に何かを強要したり、自分が意図した通りに動かしたいと思ったとしても、それは自分にとって都合がいいだけであり、相手にとっては迷惑でしかない。

そして、相手を動かそうとすればするほど、相手の心は固く閉ざしてしまふ。そのため、さらに強い力で相手を動かそうとする。「北風と太陽」の関係を思い浮かべるとよりイメージが掴みやすいかもしれない。

この負のスパイラルから抜け出すための方法は1つしかない。人を動かすことは不可能であり、動きたい気分や空気をつくることしかないと思ふことである。

人間は1人ひとり、同じだけの感情を抱えて生きている。自分がそうであるように、相手も気持ち動かない限り、動いてもらうことはできない。そのために見えることは、上辺ではなく、その人の立場になりきって言葉を投げかけることである。

(梅田悟司『言葉にできる』は武器になる。「日本経済新聞出版社」)

*ただし、本文の一部やルビなどを省略・追加しています。

問一 本文(一)の論旨を一五〇字以内でまとめなさい。

問二 本文(二)の傍線部について、この引用文が伝えようとしていることとはどのようなことか、自分の身近な例を加えながら、二〇〇字以内で説明しなさい。

問三 次の場面を想像してください。

「あなたはクラス委員です。毎日、教室、中庭、トイレなどを掃除する時間があるのですが、なかなか掃除をしない人たちがいる、と先生から注意を受けました。そこで、あなたはクラスのみんなに話をすることになりました。」

あなたはどのように話をしますか。本文(一)(二)の内容をふまえて、三〇〇字以内で話の概要を書きなさい。